

議 事 録

会議名	令和 7 年度第 5 回丸亀市福祉推進委員会 第 2 部
開催日時	令和 7 年 11 月 27 日木曜日 15 時 30 分～16 時 28 分
開催場所	丸亀市役所 3 階 303・304 会議室
出席者	出席委員 北川裕美子、齊藤 栄嗣、高橋 順子、武田 龍広、香川智子、吉田ゆかり、進 和彦、永田大樹、井戸いちこ、奥田 道大、木下 眞一、宮武 博之、木村 奈美 (13 名) 欠席委員 青野 美保 (1 名) 事務局 健康福祉部長 谷本智子、福祉課長 近藤武司、地域共生社会推進室長 稲田耕平、地域共生社会推進室総括担当長 万谷幸 丸亀市社会福祉協議会 事務局長 大喜多章親、地域共生社会推進グループリーダー（権利擁護）高尾光一、地域共生社会推進グループリーダー（地域福祉）小川理子 第 4 次地域福祉計画・地域福祉活動計画策定支援業務委託事業者 株式会社名豊 野田佳愛
次第	1. 第 2 部 第 6 回丸亀市第 4 次地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会 ①丸亀市第 4 次地域福祉計画・地域福祉活動計画素案について 資料 2-1 ②その他 2. その他 3. 閉会
傍聴者	なし
発言者	議事の概要及び発言の要旨

事務局 (近藤課長)	皆さんおそろいになりましたので、進めていってよろしいでしょうか。ただいまから、福祉推進委員会の第2部、第6回丸亀市第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会のほう始めさせていただきます。 それでは早速ですが、議事のほうに入りたいと思います。 議事進行につきましては、丸亀市附属機関設置条例第7条の規定によりまして、議事は会長が議長となるとありますことから、北川会長に議長として進めていただきます。なお、事務局として、この時間から、丸亀市社会福祉協議会より大喜多事務局長、それから地域共生社会推進グループの高尾リーダー及び小川リーダーが参加いたしております。また、本計画の策定支援業務委託をさせていただいております、株式会社名豊から野田様が同席させていただきますので、ご了承のほうお願いします。 ここでまた改めて、本会議の成立について報告をさせていただきます。 本会議は、丸亀市附属機関設置条例第1条別表の規定によりまして、委員の半数以上の出席が開催要件となっております。本日の出席ですが、委員14名中、13名の委員にご出席をいただいております。よって半数以上の定数を充足しておりますことから会議は成立しておりますことをご報告させていただきます。 それでは北川会長どうぞよろしくお願いいたします。
北川会長	よろしくお願いいたします。 それでは、次第に沿って議事を進めてまいります。委員の皆さまには円滑な進行にご協力いただきますよう、お願いいたします。 まず、①丸亀市第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画素案についてを議題とします。事務局よりご説明をお願いいたします。
事務局 (稲田室長)	【資料 2-1】に基づき説明】
北川会長	はい、ありがとうございました。 ただいまの説明につきまして、ご質問ご意見等ございましたら挙手をお願いいたします。
北川会長	すみませんが、私の方から。

	評価指標のところで、ご説明いただいたと思うのですが、確認ということで。今回の評価の仕方としては、成果指標と参考指標というようなかたちで分けてます。どのように評価するかっていうことが明記されてるということで、地域福祉計画のほうについては、前回の計画のときには現状値と目標値みたいなものが示されていたんですが、今回は参考指標のところに、具体的な目標値っていうものは明記していなくて、重層的支援の方は書かれているんですけども、地域福祉計画のその他の所は書いていないんですが、先ほど中身のほうでご説明があったように、どのように変化をしたかっていう、数値というよりは、どういうふうに変わったかというそのプロセスとかそういったところを評価するように、変更したというような意図でよろしいでしょうか。
事務局 (稲田室長)	おっしゃる通りです。現計画ではですね、そういった会議の開催数が、今、この年は何回だったから、それを、計画終了5年後ですか、5年後に何回に持ってくると、そういうその回数だけの指標でございました。で、そういったやり方も当然ながら、有効ではあるかと思うんですけども、やはりその回数だけではなかなか測れない内容もあろうかと思しますので、そういったところをですね、今回は参考指標で、そういった回数、会議の開催数、そういったものもいいんですけどもそれ以外にもですね、例えば会議を1回以上、年1回以上は必ずするんだけれどもと、そういうふうな、指標にしていってですね、そして、その中身であったりとか、取組状況、こういったものを、提示をしてですね、その、評価をいただくというような形ですね。そういうやり方で、行って参りたいというふうに思っております。
北川会長	ありがとうございます。そうすると、重層的支援のほうも、同じような形で目標値はすべて増加というふうに書いてはいるんですけども、回数だけではなくて、ということと同じような解釈でよいのでしょうか。
事務局 (稲田室長)	はい、そういうことを思っております。会議の開催数でありますとか、それからプランの件数でありますとか、そういったものはもちろん、把握をして参ります。 ただですね、その回数が単純に増えたからといってですね、効果的なものに、事業になってるかと言ったら、ちょっと、なかなかそれだけでは判断できない部分もあろうかと思しますので、そういった、あれですね、増加とい

	うふうに、あの、一応しておいてですね、その回数も然りですけどもその中身といいましょうか、そういったものも合わせて、取組状況を提示をさせていただいて、そして評価検証いただくと。そういった形を考えております。
谷本部長	追加ですみません。
北川会長	はい。
谷本部長	成果指標は、それぞれ、行動目標ごとに、こうやって設けてありますので、それぞれの参考指標に掲げておりますその事業の回数ですとか、年1回以上するとか、そういったものが、成果指標の向上なり、減少なり増加なり、そういったものにどう貢献するかっていうところの進捗管理を行っていききたいと思っております。なので、具体的に1回したからといってその内容がどうだったかっていうところも、これから具体的に、年度ごとに拡大することによって、この委員会において評価していただきたいと考えております。以上です。
北川会長	ありがとうございます。その他いかがでしょうか。
木村委員	はい。
北川会長	はい。木村委員お願いします。
木村委員	木村です。二つお話ししたいのですが。今日受け取った資料編のほうの用語の説明のひきこもりというところの、27ページのところですけど。今年1月に「ひきこもり支援ハンドブック」というのが新しく出まして、そこで6か月以上っていう言葉がとれたと思うので、もう一度その辺を確認していただきたいなと思いました。 もう一つが、参考指標ということで、例えば、いちばん上の行動目標1地域でつながり支え合う関係を深めようというところで、ホームページ、SNSっていうところがあるんですけど。提案っていう形になるかちょっと、今この場を出していいのか分からないんですけど、例えば今回、コラムとか、先ほど15個あるということで素晴らしいなと思ったんですけど、これが例

	えば、ホームページのほうにあって、そこからダウンロードできる。こういった形は取れないのかなと思いました。 例えばそれが、1枚のチラシになって、それがPDFなどでダウンロードできて、印刷できたらそれをシェアする人が増えたりとかするので、例えばそういったことを、参考指標の1つとして、何枚ダウンロードされた、何回拡散されたっていうようなものになればいいかなと思ったので、ちょっとご提案、意見っていう部分ではあるんですけど、コラムをいかす形を何かしらいいなと思いました。
事務局 (稲田室長)	はい。ありがとうございます。 1点目のひきこもりの、この内容ですね、精査いたします。ありがとうございます。それからコラムの活用ということで、ホームページを活用してダウンロードした件数とかそういったものも、ということでご提案いただきましたので、検討して参りたいというふうに思います。ありがとうございます。
木村委員	ありがとうございます。
北川会長	他にいかがでしょうか。いろいろ修正もしていただいたというところで。はい、お願いします。
齊藤委員	全体にいろいろな市民の方に、より広く、わかりやすい、楽しく見れるっていう感じのものになっているように思います。 ただ、ちょっと私見てて、恐らくこれが最終的なところになると変わるのかなと思うのですが、文字の書体というのは、何か考えられてるんですかね。全体的に、例えば、デザイン的に考えると、見出しの書体と、いわゆる文面の書体というのがそうですね、みんな一緒なゴシックになってるので、読んでる、歳のせいかな、疲れるというのか、ちょっと読みづらいなというのは思います。 普通、例えば印刷関係の分野では、ユニバーサルフォントっていうようなものを使うのが当たり前になってるので、そういう風にすると、ちょっとバリアフリーな感じで、誰もが読みやすい見やすいっていう感じになるのかなというように思います。ちょっと全体に、きついなっていうのが、印象があ

	って。おそらく変わるんだろうなと思うんですけど、その所はちょっと確認させていただいたということで。よろしくお願いします。
事務局 (稲田室長)	ありがとうございます。 そのようなことでちょっと、ユニバーサルフォントの方の検討をさせていただきたいと思います。
齊藤委員	文面のところはやっぱり、目立つと思うんで、やっぱり見やすい方がいいのかなと。今の、ちょっとゴシックきついなあとか、読んでて疲れるなっていうのがあったのでね。そういう所でも考慮されたら、より良いものになるのかなと思います。
事務局 (稲田室長)	ありがとうございます。
北川会長	他にいかがでしょうか。中の修正とか、その辺りはまたこれからやっていく形ですかね。誤字とかの。内容そのものというよりは、図がちょっとズレていたりとか図が重なってたりという所は。
事務局 (近藤課長)	そうですね。今、皆さんにお示ししてる資料も、確かに重なってたりとか、文字が誤ってたりとかひらがなにするとところ、漢字だったりとかいろいろありますので、その辺りは事務局サイドでしっかりと点検していきたいと思います。
北川会長	ありがとうございます。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。 何か気づいたことがありましたら、またお伝えいただけたらと思います。 特に他にご意見ないということですので、本件につきましては了承いたします。 その他について決まった議題はありませんが、事務局または委員の皆様から何か議題として話し合うことはありますでしょうか。
事務局 (稲田室長)	すいません。少し補足をさせていただきたんですけども。 今後のスケジュールといいましょうか、地域福祉計画に関わるスケジュールなんですけれども、この素案のですね、12ページをご覧になっていただき

	たいんですが。計画の策定方法というところで、今ですね、下から言いますと、4つめのところですね、四角の中、丸亀市福祉推進委員会というところで、そこでご審議をいただいと、いうわけでございます。 それから、今後なんですけれども、その下側に丸亀市議会というふうに書いているかと思います。 こちらの説明ということで12月10日に説明を、この素案について、内容説明を予定しております。 それから、その下ですね、パブリックコメントというところで、市民の皆様から広くご意見をいただくというようなことで、それに関しては12月の25日からですね、翌1月28日までの約1か月間ですね、実施を予定しております。 そして、その次になりますけれども、今後ですね、第6回目になりますけれども、この、地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会をですね、2月の13日に開催を予定しております。そこですね、パブリックコメントへのですね。ご意見いただいたものについての対応、それから、先ほど申し上げましたけれども、答申書ですね、委員会の答申書案というものについてですね、その会で確認をいただくと。そして、2月から3月の間でですね、丸亀市長への答申という予定です。この答申に関しましては、会長さんそれから副会長さんと、日程調整をさせていただいた上で行いたいと思っております。そういったところがですね、地域福祉計画・地域福祉活動計画に関する今後のスケジュールでございます。以上でございます。 失礼いたしました。 次、地域福祉計画の策定委員会は、先ほど6回と言いましたけれども、7回の間違いです。
北川会長	はい、ありがとうございます。他にいかがでしょうか。 そうしましたら特にご意見ないようですので、本日の議事はこれで終了いたします。 円滑な進行にご協力いただきましてありがとうございます。
事務局 (近藤課長)	北川会長、議事の進行ありがとうございました。また委員の皆さま方におかれましても、熱心に審議のほうしていただきまして、ありがとうございます。

	それでは次第のほうに戻りまして、6.のその他というところになります が、せっかくの機会でございます。この場で委員の皆様方から何か他にご意 見等ございましたらお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。 大丈夫でしょうか。 はい、ありがとうございます。 事務局のほうからは、何かありますか。
事務局 (稲田室長)	先ほども申し上げましたけれども、一応確認ということで、次回第7回の 地域福祉計画の策定委員会ということで、令和8年の2月13日金曜日の14 時から、この市役所の4階の災害対策本部会議室で開催を予定をしております。 内容といたしましては、先ほども申し上げた、パブリックコメントの対応 状況、それから、答申書案についてのご審議をいただくということでござい ます。どうぞよろしくお願いいたします。
事務局 (近藤課長)	それでは最後になりますが、全体を通じてご質問等、この場で言っときた いなと思うようなところはありませんでしょうか。 それでは、ないようですので、これで本日、第5回令和7年度における第 5回の福祉推進委員会はすべて終了とさせていただきたいと思います。貴重 なご審議ありがとうございました。